

第二期
小平市国民健康保険データヘルス計画
に基づく保健事業実施状況報告書
(令和3年度実績)

令和4年9月
小平市
(小平市国民健康保険)

目次

1 特定健康診査	…… 2
1-1 特定健康診査受診勧奨(通知送付)	
1-2 集団健診	
1-3 人間ドック助成	
1-4 職場の健診結果提出	
2 がん検診	…… 12
3 健診異常値放置者受診勧奨	…… 15
4 特定保健指導	…… 18
5 糖尿病重症化予防指導	…… 21
5-1 重症化予防プログラム	
5-2 重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨	
6 多受診者指導	…… 27
7 ジェネリック医薬品差額通知	…… 30
8 第二期データヘルス計画の実績	…… 32

1 特定健康診査

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
1 特定健康診査			
特定健康診査受診勧奨(通知送付) 未受診者に通知を送付し、受診勧奨を行います。	①40歳の新規特定健診対象者から抽出 ②40～60歳代のうち前年度特定健診未受診者	勧奨通知送付回数 年1回	送付後の受診率 20%
集団健診 当該年度未受診者に対し、集団健診の受診勧奨を行います。	40歳～74歳の被保険者	勧奨通知送付回数 年1回	受診者数 600人
人間ドック助成 人間ドックの受診者に補助金を出します。	30歳以上の人間ドック受診者	申請件数 1,000件	-

1-1 特定健康診査受診勧奨(通知送付)

●事業内容

40代から60代までの若年層の特定健診受診率が低いことに着目し、令和3年度に40歳になり特定健診の対象者となった被保険者及び前年度の特定健診未受診者に対し、通知による受診勧奨を行った。

●対象者(前年度特定健診未受診者・前年度初受診者)

特定健診未受診者に対する受診勧奨については、令和元年度から人工知能技術を活用し、過去3年間の受診行動(健診結果・問診票)を分析することで、勧奨効果の高い対象者を選定した。選定の結果、前年度未受診者に加え、過去3年間で前年度のみ受診者(前年度初受診者)に対する勧奨効果が高いと判断し、対象者としている。

また、過去3年間で不定期に健診を受診している不定期受診者においては、対象者の健康意識についても分析を行い、その特性毎に4つのセグメントに分類、セグメント毎に効果の高いメッセージやデザインを活用し、通知文書を発送している。

さらに、令和3年度から生活習慣病の通院歴の有無等3つのセグメントを追加して受診率の向上を図った。

【健康意識に合わせた対象者の分類】

セグメント A
頑張り屋さん

日々健康に気を遣っているため病気になる心配をしておらず、健診に行く意義を感じていないタイプ

セグメント B
心配性さん

将来病気になることをとても心配しており「健診に行く」と怖い病気が見つかりそうだから行きたくない」と思っているタイプ

セグメント C
甘えん坊さん

不健康である自覚はあるが、いまの生活に幸せを感じており、積極的に改善しようとは思っていないタイプ

セグメント D
面倒くさがり屋さん

自分のことを健康だと思っており、健康に関する情報・健康診断に興味がないタイプ

セグメント E
レセプトなし健診歴なしの方

生活習慣病関連の医療機関受診歴がなく、特定健診の受診もしていない方

セグメント F
レセプトあり健診歴なしの方

生活習慣病関連の医療機関受診歴があるが、特定健診の受診をしていない方

セグメント G
新規国保加入者の方

前年度に小平市国保に加入し、今年度より初めて特定健診の対象となった方

● 勸奨通知発送件数及び評価

① 40歳の新規特定健診対象者に対する通知

通知数 (件)	通知後に 受診した数 (件)	受診率 (%)	目標値 (%)	目標達成率 (%)
347	94	27.1	20	135.5

【新40歳に送付した通知】

40歳 になる皆さま、
特定健診 を受診してください！
無料

特定健診とは…生活習慣病の予防・早期発見のための健康診査です。
40歳～74歳の人を対象に、毎年実施しています。
受診する方法…6月下旬に健康診査のご案内(受診票・問診票)をお送りします。
案内が届いたら、最寄りの医療機関で忘れずに受診してください。

Q.忙しくて受診する時間がない…
Q.健診って高いのでは？
Q.健康だから大丈夫！
Q.太っていないから関係ない

A. 近隣市を含む複数の医療機関で受診できます。土日や予約不要で受診できる医療機関もあります。
A. 特定健診は、無料です！
(※個人で追加した検査項目を除く)
A. 毎年の健診で定期的にチェックが必要です。
生活習慣病は自覚症状がないうちに進行します。
A. 太っていないくても、高血圧や高血糖、脂質異常など病気が隠れている場合があります！

特定健診を受診すると…

病気の芽を早期に発見できます！
早期に治療することで医療費が安く済みます！
毎年受けることで、体の変化に気付きやすくなります！

40代から気をつけたいポイント

毎年健診を受ける。
健診結果から生活習慣を見直す。
適正体重を維持する(BMI≧22)
BMI=体重kg÷(身長m)²

禁煙、節酒。
1週間に2日は休肝日を。

十分に睡眠・休養を。
心身の悩みは早急に相談機関や専門医に相談。

主食・主菜・副菜をそろえ、1日3回食べる。
薄味で減塩。
油や脂肪の取りすぎに注意。

毎日今よりも10分多く歩く。
エレベーターを使わず階段を。
体を使う家事をこまめに。

特定健診以外にも、人間ドック利用費補助・職場の健康診断結果の提出があります！
年に1回ご自身の体の状態を必ず確認しましょう！

特定健診

対象 年度末時点で40歳～74歳の方
75歳の方の一部
※年度始めから国保に引き継ぎ加入している方

受診方法 6月下旬に届く医療機関一覧の中から受診する医療機関を選ぶ

受診期間 7月1日～10月31日

費用 無料

申請 不要

人間ドック

受診日時 30歳から74歳までの方

受診を希望する医療機関に直接申し込み

1年中

病院の定める料金

必要※
受診日の翌日から1年以内に申請すると
上限10,000円を助成

職場で健診を受けた

年度末時点で40歳～74歳の方
※年度始めから国保に引き継ぎ加入している方

職場などの健康診断に申し込み

職場などに問い合わせてください。

必要※
翌年度の5月末までに申請すると
指定ごみ袋をプレゼント

※詳細は保険を金調に問い合わせてください。

皆さまが納付された貴重な国民健康保険税を財源としています。
1年度あたり1つのご申請をお願いします。
上記事業は国民健康保険に加入している方のための取組です。
小平市 保険年金課国民健康保険担当
〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地
電話 042-346-9529

② 前年度特定健診未受診者・前年度初受診者

対象者		通知数 (件)	通知後に 受診した数 (件)	受診率 (%)	目標値 (%)	目標達成率 (%)
前年度 未受診者	不定期 受診者	2,583	1,302	50.4	20	252.0
	未経験者	3,886	1,088	28.0		140.0
前年度初受診者		531	132	24.9		124.3
合計		7,000	2,522	36.0		180.1

【送付した通知文書】

表紙

料金別納郵便

小平市の特定健診

大切なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、
受診期間等が変更となる場合があります。
最新の情報は、市のホームページ等でご確認ください。

小平市 健康福祉部 保険年金課
〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地 電話:042-346-9529

特定健診の詳細い内容は中面をご覧ください

受診できる医療機関

予約の要否	医療機関名	電話番号
不要	小平いりすクリニック	042-349-0131
要	小平中央クリニック	042-343-4211
要	清水小児科内科医務院	042-343-2255
要	矢口内科クリニック	042-349-1168
要	松原内科クリニック	042-426-8080
要	花小金井マーククリニック	042-459-6050
不要	ふなげき胃腸クリニック	042-459-6000
要	比叡病院	042-461-1636
不要	杏光病院	042-461-5975
要	エムクリニック	042-461-4626
要	花小金井北クリニック	042-467-2477
要	精神内科クリニック	042-466-6777
不要	松浦病院	042-463-6128
要	八木メディカルクリニック	042-466-3861
要	花小金井さきしたクリニック	042-466-6600
要	東田内科クリニック	042-465-1416
要	しずく内科健診センタークリニック	042-459-6258
要	まほろばクリニック	042-450-6222
要	近藤病院	042-467-2162
要	いとし小児科	042-465-2288
要	さくら内科・心療内科	042-343-7777
不要	鈴の木台診療所	042-341-3256
要	西蔵クリニック	042-329-8833
要	竹本内科小児科医務院	042-461-7303
不要	木田病院	042-343-7777
要	鈴木町クリニック	042-401-1170
不要	やの医院	042-321-0673
要	みどり内科クリニック	042-328-5111
要	クリニックあかほ	042-343-6611
要	赤クリニック	042-348-6282
要	道野内科医務院	042-343-1322
要	東田内科クリニック	042-348-6661
不要	明徳クリニック	042-343-6956
要	第二小川クリニック	042-344-1122
要	小椋医院	042-342-0036
要	松浦病院・形成外科 内科	042-344-1666
要	南宮病院	042-343-1111

予約の要否	医療機関名	電話番号
不要	はやぶさ内科	042-348-2200
要	ゆずるクリニック	042-348-6616
要	こいだり小川町内科	042-341-0654
不要	さわだ内科クリニック	042-347-7000
要	木の丘クリニック	042-349-2424
要	新小川クリニック	042-312-1185
要	古堂医院	042-341-0555
要	高野赤科胃腸科	042-342-5803
不要	柳屋診療所	042-341-3011
要	戸島整形外科クリニック	042-346-6928
要	小川クリニック	042-341-0653
要	えんどう内科クリニック	042-348-2656
要	みその診療所	042-342-7270
要	小宮いずみ内科クリニック	042-312-3020
不要	多摩済生医院	042-341-1611
要	山之内整形外科	042-341-0451
要	井上内科クリニック	042-342-0056
要	あかし産科産科外科	042-342-7444
不要	四国産科クリニック	042-346-5188
要	仲谷クリニック	042-341-5270
要	学園 びらくクリニック	042-348-0820
要	なかし産科産科	042-332-0222
要	豊平産科産科	042-332-3387
不要	中山内科クリニック	042-324-0639
要	一橋病院	042-343-3111
要	藤川医院	042-343-1118
要	浮田医院	042-341-0348
要	鈴木小児科内科医務院	042-341-0353
要	真龍クリニック	042-342-8280
不要	聖村クリニック	042-342-6000
土曜のみ	学園診療所	042-347-5005
要	びらかわ医院	042-348-1300
不要	足利クリニック	042-341-1510

※国分寺市、東村山市、東大和市の医療機関でも受診できます。
詳細は、6月下旬にお送りした医療機関一覧をご確認ください。

A 頑張り屋さん

特定健診受診までの流れ

【受診期間】令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混みます。受診はお早め。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
①質問票 ②受診票 ③保険証
④がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票がお手元にない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月版のアンケートをもとに作成しています。行先の変更はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

残念ながら、食事や運動に気を使っても、避けられない病気があります

健診でわかる主な病気の兆候

生活習慣によって起こりうる
病気のリスクを調べます

血中脂質

・脂質異常症
・甲状腺機能低下症
・動脈硬化・脂肪肝

検査項目
・LDLコレステロール
・HDLコレステロール
・中性脂肪

詳細検査

・アルコール性肝炎
・脂肪肝
・胆結石
・肝がん
・溶血性貧血
・甲状腺機能低下症

検査項目
・γ-GT
・AST
・ALT

血圧

・高血圧症・動脈硬化
・収縮期血圧
・拡張期血圧

検査項目
・糖尿病
・糖尿病性腎症

腎機能

・糸球体腎炎
・慢性腎臓病
・ネフローゼ症候群

検査項目
・尿たんぱく

※上記以外にも、様々な病気につながる可能性があります。

どんなに生活習慣に気をつけても
加齢によって病気のリスクは増幅します

脳血管疾患患者数(年齢階級・入院・外死)

※患者数(調査日1日あたり)に病院、一般診療所、療養所等から受診した患者の集計数。
出典:平成29年度厚生労働省調査

健診にかかる時間
約**1時間**

苦しい検査はありません
身体測定 | 血液検査 | 血圧測定
尿検査 | 問診・診察

個人への負担はありません
個人で受ける約10,000円かかる検査を、国民健康保険加入者は無料で受けられます。

※健康状態等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診にかかる費用
0円

※健康状態等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

B 心配性さん

特定健診受診までの流れ

【受診期間】令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混みます。受診はお早め。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
①質問票 ②受診票 ③保険証
④がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票がお手元にない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月版のアンケートをもとに作成しています。行先の変更はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

健診を受けて生活習慣病についての不安や心配事を解消しましょう!

心配1 健診を受けるとどんな病気かわかるの?

わずかな検査で
20以上の病気の兆候が発見できます

・脂質異常症
・甲状腺機能低下症
・アルコール性肝炎
・糖尿病性腎症
・胆結石
・脂肪肝
・溶血性貧血
・高血圧症
・動脈硬化

・肝炎
・肝硬変
・肝がん
・糸球体腎炎
・慢性腎臓病
・ネフローゼ症候群

・糖尿病
・糖尿病性腎症

・特定保健指導

検査でメタボ該当者および予備群と診断された方には、保健師や管理栄養士が生活習慣の改善をサポートします(特定保健指導)。病気を発症する前にメタボから脱出しましょう。

※メタボリックシンドローム(メタボ)とは、内臓脂肪の蓄積が原因で病気にかかりやすい状態のこと

健診を受ける医療費が下がって本当?

病気を早期に見し、
治療を受けると医療費が抑えられます

メタボに該当する病気を放置すると、治療期間が長くなります。早期発見・早期治療で医療費を削減しましょう。

入管外医療費
男性 **-5,830円/年**
女性 **-7,870円/年**

出典:厚生労働省「第19回国民生活に関する調査」(平成28年)

心配2 病気の兆候が見つかったら改善できるの?

専門職が病気の予防について
面談や電話でサポートします

生活習慣の改善
生活習慣の改善

※特定保健指導

検査でメタボ該当者および予備群と診断された方には、保健師や管理栄養士が生活習慣の改善をサポートします(特定保健指導)。病気を発症する前にメタボから脱出しましょう。

※メタボリックシンドローム(メタボ)とは、内臓脂肪の蓄積が原因で病気にかかりやすい状態のこと

健診にかかる時間
約**1時間**

苦しい検査はありません
身体測定 | 血液検査 | 血圧測定
尿検査 | 問診・診察

健診にかかる費用
0円

個人への負担はありません
個人で受ける約10,000円かかる検査を、国民健康保険加入者は無料で受けられます。

※健康状態等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

C 甘えん坊さん

特定健診受診までの流れ

【受診期間】 令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混みます。受診はお早めに。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
① 質問票 ② 受診票 ③ 保険証
④ がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票が手元ない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月版のチラシをもとに作成しています。行先違いの場合はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

生活習慣病からあなたを守り、健康づくりをサポートします

特定健診

病気の兆候を早期発見

**特定健診を受けて、
生活習慣病のリスクを見つけましょう!**

身体測定 血液検査 血圧測定
尿検査 問診・診察

健診にかかる時間
約1時間。

苦しい検査はありません
※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

特定保健指導

生活習慣病のリスクが高い方へのアフターケア

保健師・管理栄養士などの専門職が
生活習慣の改善をサポート!

健診の結果、生活習慣病のリスクが高いと診断された方には、専門職が生活習慣の改善をサポートします。

特定保健指導の効果

積極的な取り組みで数値を改善!

特定保健指導 積極的支援参加者の1年間の効果

年齢: 40~64歳の場合
【体重】
男性 **-2.33cm** 男性 **-1.98kg**
女性 **-3.01cm** 女性 **-2.26kg**

※測定を継続した場合の費用は自己負担となります。

D 面倒くさがりやさん

特定健診受診までの流れ

【受診期間】 令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混みます。受診はお早めに。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
① 質問票 ② 受診票 ③ 保険証
④ がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票が手元ない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月版のチラシをもとに作成しています。行先違いの場合はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

小平市の特定健診の受診は簡単です!

医療機関を選んで申し込むだけ!

— 当日の持ち物はこれだけ —

① 質問票
② 受診票
③ 保険証
④ がん検診の受診票
(がん検診を同時に受診する方)

受診票を失くしたけど
どうすればいいの?

ご不明な点がありましたら
お問い合わせください。

小平市 健康福祉部 保険年金課
☎042-346-9529
(平日 8:30~17:00)

わずかな時間で終わります

約1時間。

身体測定 血液検査 血圧測定 尿検査 問診・診察
※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

個人の負担はありません

0円。

個人で受けると約10,000円かかる検査ですが、国民健康保険加入者の方は、小平市が健診費用の全額を負担します。
※項目を追加した場合の費用は自己負担となります。

E レセプトなし健診歴なしの方

特定健診受診までの流れ

【受診期間】 令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混みます。受診はお早めに。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
① 質問票 ② 受診票 ③ 保険証
④ がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票が手元ない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月版のチラシをもとに作成しています。行先違いの場合はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

小平市の特定健診に行ってきました!

1 医療機関を選ぶ

場所も近しい
行ってみようかな…

裏面より、ご希望の医療機関を
お選びください。

2 電話で申し込む

電話1本で
すぐに申し込みできて
簡単ね!

医療機関に直接お電話ください。
「特定健診を受けたい」と
お伝えいただくとスムーズです。

よくある質問に
お答えします

受診票が手元に無い
場合はどうすればいい
ですか?

3 受付後、検査する

質問票と受診票、
がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)、
保険証を持ってきてください!

当日の
検査内容

身体測定 血液検査 血圧測定
尿検査 問診・診察

「わずかな時間」で終了!
病気の早期発見にも
つながるから、受けて
良かったです!

検査結果などは後日、
医療機関で確認してください。

※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

写真はイメージであり、実際に特定健診を受診した方とスタッフとは異なります。

受診票は6月に oversending しております。紛失された、もしくは届いていない場合は小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。

F レセプトあり健診歴なしの方

特定健診受診までの流れ

【受診期間】令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混み合います。受診はお早めに。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
中面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
①質問票 ②受診票 ③保険証
④がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票が手元にない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。
※このご案内は、6月時点のデータをもとに作成しています。行先の変更はご容赦ください。

「医療機関リスト」は中面へ

通院中の方でも受けられる 小平市の特定健診

ご存知でしたか？

現在、通院中の方も
**特定健診受診の
対象者です**

かかりつけ医 + 特定健診

治療のために行う検査と特定健診では
検査項目が違います。

ぜひ、一度かかりつけ医に
ご相談ください。

年に一度の特定健診を必ず受けましょう。

検査時間は？

かかる時間 = 約 **1** 時間。

血液検査 | 血圧測定 | 尿検査 | 身体測定 | 問診・診察

血液検査と尿検査を中心にした健診です。糖尿病、高血圧症をはじめとする、長期間治療が必要な病気の兆候・リスクを詳しく調べます。
※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診費用は？

かかる費用 = **0** 円。

糖尿病・脂質異常症・腎臓病・肝臓病・その他の病気

個人で受けると約1,000円かかる検査ですが、国民健康保険加入者の方は、小平市が健診費用の全額を負担します。
※項目を追加した場合の費用は自己負担となります。

新規国保加入者の方向け表紙

料金別納郵便

国民健康保険からの
重要なお知らせ

小平市

小平市 健康福祉部 保険年金課
〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地
電話：042-346-9529

受診できる医療機関

病名/病種	医療機関名	電話番号
不要	小平いのクリニック	042-349-0131
要	小平東口クリニック	042-347-0211
要	清水小児科内科医院	042-343-2355
要	矢野内科クリニック	042-349-1168
要	松岡内科クリニック	042-426-8080
要	花小金井ハートクリニック	042-450-6050
不要	ふなび野腎臓クリニック	042-459-6080
要	比留間医院	042-461-1636
不要	古元医院	042-461-5975
要	エムクリニック	042-451-6626
要	花小金井中央クリニック	042-467-2477
要	御神内科クリニック	042-460-8777
不要	松清医院	042-463-8128
要	八木メイトファミリークリニック	042-460-3861
要	後ヶ水クリニック泌尿器科・小児泌尿器科	042-344-5390
要	花小金井赤十字クリニック	042-466-6600
要	浜田内科クリニック	042-451-5106
要	しみず内科泌尿器科クリニック	042-450-5288
要	またたけクリニック	042-450-6222
要	近藤医院	042-467-2162
要	いとう小児科	042-465-2288
要	こたの内科・心臓内科	042-341-7777
不要	跡の本台診療所	042-341-3256
要	西尾クリニック	042-329-8833
要	行木内科小児科医院	042-461-7303
不要	大林医院	042-461-7677
要	跡本町クリニック	042-401-1170
不要	やの医院	042-321-0573
要	みどり内科クリニック	042-328-5111
要	クリニックたかの台	042-342-5511
要	神クリニック	042-348-8282
要	瀬野内科医院	042-343-1322
要	東田内科クリニック	042-348-8641
不要	加賀屋クリニック	042-341-0655
要	第二小川クリニック	042-344-1122
要	小嶋医院	042-342-0056
要	松原整形外科・形成外科・内科	042-344-1666
要	南台病院	042-341-7111

料金額納郵便

国民健康保険からの
重要なお知らせ

小平市

小平市 健康福祉部 保険年金課
〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地
電話：042-346-9529

G 新規国保加入者の方

国民健康保険にご加入の皆さまへ

年に1度の健康診断
があります

大切なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、
受診期間等が変更となる場合があります。
最新の情報は、市のホームページ等でご確認ください。

※このご案内は、6月時点のデータをもとに作成しています。
行き違いの場合はご容赦ください。

特定健診の申し込み方法の詳細は中面へ

特定健診受診までの流れ

【受診期間】令和3年10月31日(日)まで
9月以降は毎年大変混み合います。受診はお早めに。

Step 1 医療機関を選ぶ

ご希望の医療機関を
裏面よりお選びください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に
直接電話でお申し込みください。

【当日の持ち物】
健診費用：無料
①質問票 ②受診票 ③保険証
④がん検診の受診票(がん検診を同時に受診する方)

※質問票、受診票が手元にない場合は、再発行が可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(☎042-346-9529)へお問い合わせください。

小平市の特定健診

検査時間は？

かかる時間 = 約 **1** 時間。

血液検査 | 血圧測定 | 尿検査 | 身体測定 | 問診・診察

血液検査と尿検査を中心にした健診です。糖尿病、高血圧症をはじめとする、長期間治療が必要な病気の兆候・リスクを詳しく調べます。
※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診費用は？

かかる費用 = **0** 円。

糖尿病・脂質異常症・腎臓病・肝臓病・その他の病気

個人で受けると約1,000円かかる検査ですが、国民健康保険加入者の方は、小平市が健診費用の全額を負担します。
※項目を追加した場合の費用は自己負担となります。

1-2 集団健診

●事業内容

特定健診の受診期間（7月～10月）に健診を受診できない人を対象に、集団形式の健診（集団健診）を実施した。令和3年度は、小平市福祉会館を会場として1月と2月に5日間実施した。

集団健診の実施にあたり、9月に特定健康診査の未受診者に対して、特定健診の受診勧奨と、集団健診の案内を同時に発送した。また、市報にて集団健診の周知を行った。集団健診の申し込みは、本案内の返信用はがきと電話で受付を行った。

●勧奨通知の送付の状況

9月17日に、22,951件の送付を行った。

【特定健診受診勧奨通知及び集団健診申込】

締切間近 特定健診(個別)申し込みの流れ

【受診期間】令和3年10月31日(日)まで

Step 1 医療機関を選ぶ

パソコン・スマホから **小平市 特定健診** 検索

6月下旬にお送りした受診票(封筒)に入っている医療機関一覧表またはホームページから医療機関を選んでください。

Step 2 電話で申し込む

ご希望の医療機関に直接電話でお申し込みください。

特定健診を10月31日(日)までに受診できない場合は、本通知についているはがきで集団健診のお申し込みができます。

【申込期間】令和3年11月15日(月)必着 ※先着順
【会場】小平市福祉会館
【受付時間】11月13日(水) 2月 9日(水) 2月19日(土)
【受付時間】9:00～11:30 ※各回定員150名

当日の持ち物 **健診費用：無料**
①質問票 ②受診票 ③保険証
※がん検診の受診票(がん検診を同時を受診する方)

※質問票、受診票が必ず手元にある場合は、事前に小平市 健康福祉部 保険年金課(042-346-9529)へお問い合わせください。
※この案内内は、8月時点のデータをもとに作成しています。行き違ひの場合はご容赦ください。

郵便往復はがき

料金別納郵便

往 信

小平市の特定健診

年に一度の健康診断です。
小平市の国保加入者の方は必ず受けてください。

大切なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、受診期間等が変更または中止となる場合があります。最新の情報は、市のホームページ等で確認ください。

小平市 健康福祉部 保険年金課
〒187-8701 小平市小川町2-1333 電話:042-346-9529

特定健診の詳細内容は中面をご覧ください

受付番号 000000000

集団健診申込はがき

以下の空欄に必要事項を記入してください。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更または中止となる場合があります。また先着順・定員制となっているため、ご希望に届かない可能性もあります。**確実に受診ができる医療機関での特定健診をご利用ください。**
※集団健診は、福祉会館を会場とする集団形式の健診となります。
※集団健診を申し込まれない方も、アンケートに回答し返信をお願いします。

フリガナ
名前 (男・女)
住所
電話番号 () - (自宅・勤務先・携帯)

希望日 (○をつけてください)

第1希望	1/12(水)・1/13(木)・1/21(金) 2/9(水)・2/19(土)
第2希望	1/12(水)・1/13(木)・1/21(金) 2/9(水)・2/19(土)

1ヶ月以内の希望日 その他()

特定健診の受診率向上のためにアンケートにご協力をお願いします

10月31日(日)までに特定健診を受診できない理由を教えてください。(※を付けてください)

忙しい 予約が取れない 定期的に受診中
 人間ドックを受診 職場の健診を受診
 新型コロナウイルス感染症が心配 その他()

アンケート欄を設け、10月31日までに特定健診を受診できない理由を調査した。

郵便往復はがき

料金受取人住所
小平 局 承 部
304
差出有効期間
2022年
1月31日迄
返 信
切手不要

東京都小平市小川町2丁目1333番地
小平市役所 保険年金課
国民健康保険担当 行

小平市 特定健診を受けてください

これだけの検査が約1時間で終わります

- 血液検査
- 尿検査
- 身体測定
- 血圧測定
- 診察・問診

20以上の病気のリスクがわかり、医師とも相談できます

- 動脈硬化
- 糖尿病
- 高血圧症
- 脂質異常症
- 肝硬変
- 慢性腎不全
- アルコール性肝炎
- 脂肪肝 など

●実施状況及び評価

	日程	曜日	予定受診者数 (人)	当日受診者数 (人)	受診率 (%)
1日目	1月12日	水	163	134	82.2
2日目	1月13日	木	165	137	83.0
3日目	1月21日	金	163	110	67.5
4日目	2月9日	水	164	114	69.5
5日目	2月19日	土	158	113	71.5
合計			813	608	74.8
目標値及び目標達成率				600	101.3

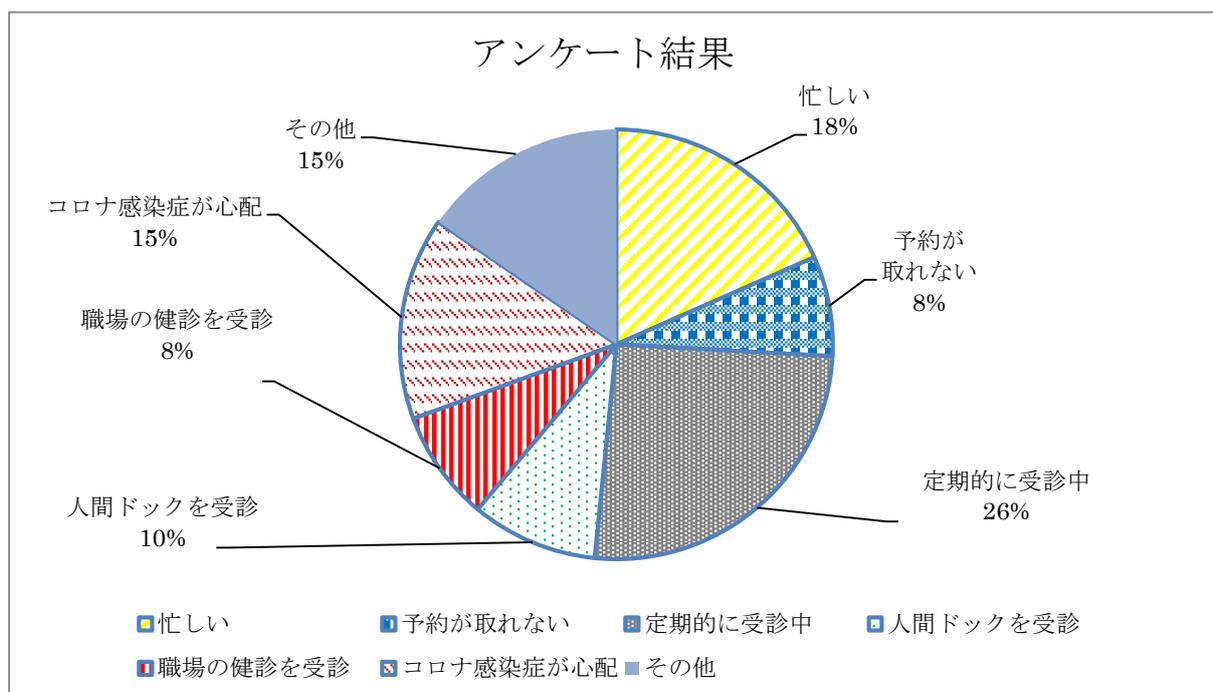
※一日当たり定員は150人。

集団健診実施日後半には新型コロナウイルス感染症対策に伴うまん延防止等重点措置が発令されていたこともあり受診者数が伸び悩んだが、目標とする集団健診受診者数を達成することができた。

また、特定保健指導の対象となる可能性が高い方に特定保健指導等の利用勧奨を行った。

●アンケートの実施

特定健診受診勧奨通知及び集団健診申込書の返信はがきにアンケート欄を設けており、10月31日までに特定健診を受診できない理由を調査した。884人から回答を得た。



※令和3年11月末集計

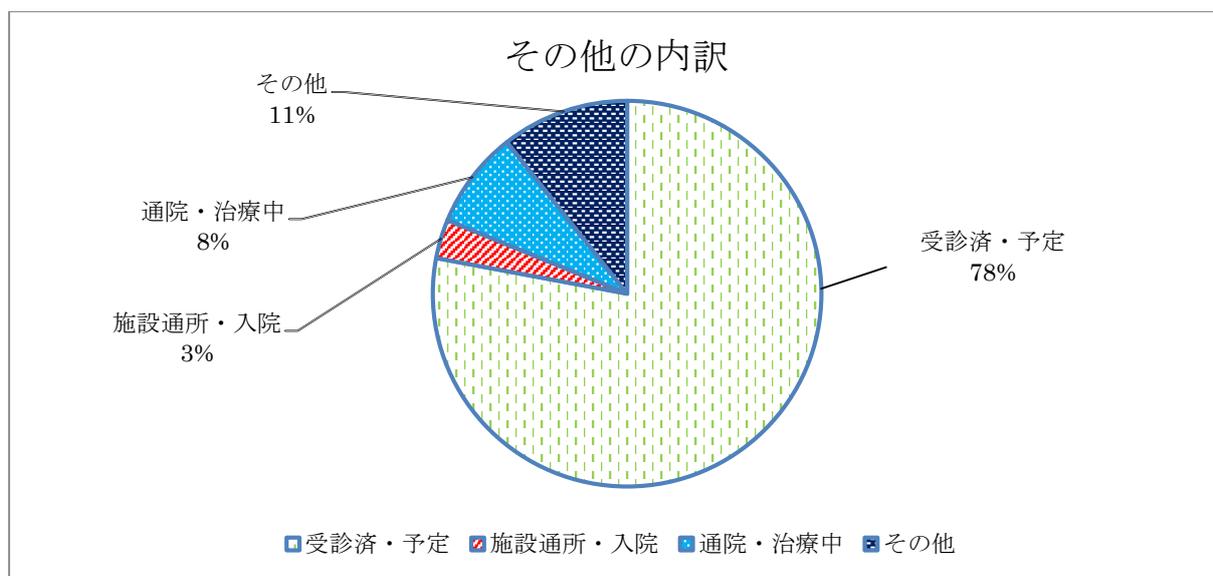
※アンケートは複数回答可

アンケート結果では、10月末までに特定健診を受診できない理由として、「定期的に受診中」を挙げる人が最も多かった。また、2番目に多い理由としては、「忙しい」であった。3番目に多い理由が「その他」で、4番目に「コロナ感染症が心配」、5番目に「人間ドックを受診」、6番目に「職場の健診を受診」が続き、最後は「予約が取れない」が続いた。

令和2年度と比較して新型コロナウイルス感染症を心配して受診を控える方が少なくなったものの、依然として多くの割合をしめているので、自身の身体状況を総合的に確認できる機会を減らされないように引き続き健診の重要性をアピールし、受診に繋げたい。

また、アンケートで「職場の健診を受診」・「人間ドックを受診」と回答があった方で人間ドック等利用費補助未申請者63人及び職場の健診結果未提出者125人に対し、3月に申請勧奨を行った。今年度から、職場の健診受診者の結果提出受付を3月末から5月末までに延長した。申請勧奨後、令和4年5月末までに申請のあった方は、人間ドック等利用費補助25人、職場の健診結果提出39人で、一定の効果があったと考えられる。

なお、アンケートのうち、「その他」として回答があり、自由記述欄に記載のあった内容は次のとおりである。



内訳としては「受診済・予定」の回答が最も多く、続いて「その他」となった。

1-3 人間ドック助成

●事業内容

30歳以上の国保加入者が、国内の医療機関で、人間ドックか脳ドックを受診したときは1万円、人間ドック及び脳ドックを受診したとき（人間ドック及び脳ドックの両方の検査項目がすべて含まれる検査を受診したとき）は2万円を補助した。

市報・国保だより特別号・市ホームページ・チラシにより事業の周知を行った。チラシは、保険年金課窓口へ配架するとともに、特定健診の受診書類にも同封している。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等もあり、例年より申請数が少なかったが、今年度は昨年度の610件よりも大幅に申請数が増加した。しかし、令和2年度の間接評価において目標件数を600件から1,000件に上方修正しており、目標には達しなかった。

●助成件数及び評価

人間ドック（件）	脳ドック（件）	人間ドック+脳ドック（件）	合計（件）	目標達成率（%）
594	45	161	800	
目標値及び目標達成率			1,000	80.0

1-4 職場の健診結果提出

●事業内容

令和元年度から、特定健診の対象者が、市の特定健診を受診せずに職場等で健康診断を受診した場合に、その健診結果を特定健診の結果として代えることができるため、健診結果を提出していただいた。

職場等で受診した健康診断の結果を提出した方に小平市指定収集袋（有料ごみ袋）を進呈した。

周知は、市報・国保だより特別号・市ホームページ・チラシによりを行った。チラシは、保険年金課窓口へ配架するとともに、特定健診の受診書類にも同封している。

令和3年度から受付期間を3月末から5月末までに延長した結果、3月中に受診した方等からの申請を受け付けることができた。

●提出件数

令和3年度の提出件数は、81件であった。

1 特定健康診査の今後の方向性

特定健診受診率向上に向けて、対象となる被保険者に対する勧奨通知の送付を中心に行った。通知内容については、令和3年度より通知の種類を4種類から7種類に増やす等の見直しを図った結果、高い効果を得ることができている。

また、令和元年度から新たに職場の健診結果提出事業を行っている。本事業は、集団健診申込はがきに記載したアンケート欄の内容に基づいて開始したものである。職場の健診結果の提出の受付期間は3月末までとしていたが、3月末までに結果が届かなかった方からの要望により、令和3年度から受付期間を5月末までに延長した。職場の健診結果の提出件数は昨年度より若干減少しているが、同時に勧奨を行っている人間ドックの申請件数は増加しており、今後も様々な方法で健診の受診勧奨を行っていく。

特定健診の受診率は、令和5年度の目標値の60%（令和2年度法定報告値は48.6%）には達していない状況から、既存の受診勧奨事業に加え、令和4年度よりデジタルコンテンツ（動画）を活用した勧奨を行っていく。

2 がん検診

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
2 がん検診 がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施します。	対象年齢の市民	-	受診率 胃がん 10% 肺がん 10% 大腸がん 30% 子宮頸がん 25% 乳がん 25%

健康増進法の規定に基づき、胃がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、及び大腸がん検診を実施している。がん検診の対象者や実施方法等については、「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」(国の指針)において規定されており、市ではおおむね国の指針に従って各がん検診を実施している。

なお、東京都において、区市町村が実施するがん検診の受診率の算出に当たり、対象年齢の住民のうち、職場や人間ドック等でがん検診の受診機会がある人と、入院や療養中等で検診を受診できない人を除いた割合(対象人口率)を算定しており、これを用いて本市における各がん検診の受診率を算定している。

●受診者数及び評価

検診名	対象年齢	対象人口 (人)	対象者数 (人) A	受診者数 (令和2年度) (人) B	受診者数 (令和3年度) (人) C	受診率 (令和3年度) (%) (B+C)/A*100	目標率 (%)	目標 達成率 (%)
胃がん	40歳以上	114,189	58,579	1,723	2,591	4.4	10	44
肺がん	40歳以上	114,189	63,489	2,464	3,417	5.4	10	54
大腸がん	40歳以上	114,189	64,174	14,770	15,557	24.2	30	81
子宮頸がん	20歳以上	82,699	49,537	2,991	4,346	14.8	25	59
乳がん	40歳以上	59,623	38,218	2,833	3,601	16.8	25	67

●対象年齢

健康増進法に基づく年齢を対象としている。したがって、小平市で実施している胃がん、大腸がん検診での35歳から39歳まで、乳がん検診での30歳から39歳までについては、受診率の算定基準としていない。

●対象者数

令和3年4月1日現在の人口に対象人口率(次項の表参照)を乗じて算定している。

●受診率(子宮頸がん・乳がんについて)

隔年での受診のため、受診率は2年分の受診者数から算定している(令和3年度は、令和2年度の受診者数に令和3年度の受診者数を加算した数)。

区部・市町村部別対象人口率表

(単位：%)

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
区部	52.2	55.1	55.3	56.7	59.5
市町村部 (島しょを除く)	51.3	55.6	56.2	59.9	64.1
東京都全体	51.9	55.3	55.6	57.8	61.1

<データ抜粋資料>

東京都福祉保健局発行

「令和2年度健康増進法に基づくがん検診の対象人口率等調査報告書」

2 がん検診の今後の方向性

がん検診については、市報や市ホームページによる広報のほか、こだいら健康ガイドを全戸配布することにより周知を図った。

令和3年度の受診率は前年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えからの回復傾向が見られ、胃がんが1.4ポイント、肺がんが1.5ポイント、大腸がんが0.9ポイント、子宮頸がんが1.8ポイント、乳がんが1.2ポイント上昇している。

市民への個別の受診勧奨としては、61歳を迎える市民を対象に肺がん検診の受診勧奨リーフレットを送付したほか、41歳を迎える女性に乳がん検診無料クーポン券を送付し、21歳を迎える女性に子宮頸がん検診無料クーポン券を送付した。

また、がん検診に特化した受診勧奨案内リーフレットを作成し、秋期以降に実施する検診の申込時期に合わせて全戸配布することで、市民への周知とより一層の受診率向上を図った。令和4年度においても、引き続き、がん検診受診勧奨案内リーフレットを作成し全戸配布することで、受診率向上を図っていくものとする。

今後においても、国が示す「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、原則として科学的根拠に基づくがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）を推進するとともに、がんを予防するための正しい健康意識の普及・啓発を図っていく。

3 健診異常値放置者受診勧奨

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
3 健診異常値放置者受診勧奨 生活習慣病関連の検査項目に異常値があるにも関わらず医療機関への受診が確認できない対象者に受診勧奨を行います。	健診異常値未治療者	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨後の受診者率 20%

●事業内容

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診を目的とし、特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関への受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行った。

令和3年度は、通知回数を1回から2回に増やした。受診勧奨において有用性が認められている「コール・リコール」の手法を用い、1回目の勧奨で認知に留まっていた対象者に対し、2回目の勧奨を実施することで行動に促すことを狙った。

また、通知内容については、メッセージを自分事であると認識していただくために、対象者に対して個人毎に治療状況に基づく情報を記載した。

【送付した通知文書（1回目）】

<p>料金別納郵便</p>	<p>受診勧奨通知書</p> <p>あなたの健診結果、医療データを確認したところ、下記の生活習慣病の発症が強く疑われますが、まだ治療を開始されていないことがわかりました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">発症の疑いがある疾患※1</td> <td style="width: 50%;"> 高血圧症 糖尿病 脂質異常症 </td> </tr> <tr> <td>医療データの確認期間※2</td> <td>令和2年4月～令和3年4月</td> </tr> </table> <p>上記の疾患に関して、自己判断で治療を行わないことはとても危険です。早急に医療機関を受診し、治療方針をご相談ください。</p> <p style="text-align: right;">令和3年7月 小平市 健康福祉部 保険年金課</p> <p><small>※1 本年度の健診の検査項目で、血糖・血中脂質・血圧のいずれかが治療を必要とする値を超過した場合に、該当する疾患を発症しています。必ずしも、ご記載の疾患と一致しない場合もございます。 ※2 記載した期間のデータをもとに算出しております。行方違いの場合はご容赦ください。</small></p>	発症の疑いがある疾患※1	高血圧症 糖尿病 脂質異常症	医療データの確認期間※2	令和2年4月～令和3年4月	<p>自己判断は危険です。 すぐに医師にご相談を。</p> <p>仕事や家事が忙しくても 受診を後回しにしてはいけません。 たとえ自覚症状がなくても、 放置している間に病気が 急激に悪化する危険性があります。 一刻も早く、受診の予約をお願いします。</p> 
発症の疑いがある疾患※1	高血圧症 糖尿病 脂質異常症					
医療データの確認期間※2	令和2年4月～令和3年4月					
<p>小平市からの 重要なお知らせ</p> <p>小平市</p> <p>小平市 健康福祉部 保険年金課 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地 電話:042-346-9529</p> <p><small>OPEN</small></p>						

<p>郵便はがき</p> <p>重要なお知らせです 必ず開いてお読みください (表裏どちらも開きます)</p> <p><small>OPEN</small></p> <p>詳しい内容は中面へ</p>	<p>受診のメリット</p> <p>一日も早い治療開始には様々な利点があります。</p> <ul style="list-style-type: none">  治療期間の長期化や服薬による身体的負担を回避できます。  治療を早く開始することで、医療費が安く済みます。  命の危険や、重い障害が残るリスクを避けられる可能性が高まります。 	<p>医療機関受診のステップ</p> <p>STEP 1 医療機関へ行く日を決める</p> <p>STEP 2 医療機関へ予約または受診する</p> <p>【当日の持ち物】</p> <p>①保険証 ②本通知書または最新の健診結果</p> <p><small>本通知は、小平市国民健康保険加入者の健康維持を目的で作成・送付しています。 小平市では診療情報・健診結果等を国民健康保険加入者の健康づくりや重症化予防などに活用しています。</small></p>
--	---	--

【送付した通知文書（2回目）】

<table border="1"> <tr> <td>料金別納郵便</td> </tr> </table>	料金別納郵便	<h3>受診勧奨通知書</h3> <p>あなたの健診結果、医療データを確認したところ、下記の生活習慣病の発症が強く疑われますが、まだ治療を開始されていないことがわかりました。</p> <table border="1"> <tr> <td>発症の疑いがある疾患^{※1}</td> <td> 高血圧症 糖尿病 脂質異常症 </td> </tr> <tr> <td>医療データの確認期間^{※2}</td> <td>令和2年4月～令和3年4月</td> </tr> </table> <p>自己判断で治療を行わないことはとても危険です。早急に医療機関を受診し、治療方針をご相談ください。</p> <p style="text-align: right;">令和3年10月 小平市 健康福祉部 保険年金課</p> <p><small>※1 昨年度の健診の検査項目で、血糖・血中脂質・血圧のいずれかが治療を必要とする値を超過した場合は、該当する疾患を記載しています。必ずしも、ご自身の疾患と合致しない場合があります。 ※2 記載した期間のデータをもとに抽出しております。行き違いの場合はご容赦ください。</small></p>	発症の疑いがある疾患 ^{※1}	高血圧症 糖尿病 脂質異常症	医療データの確認期間 ^{※2}	令和2年4月～令和3年4月	<p>このまま放置していると、大きな病気につながります。</p> <p>血糖や脂質、血圧の値が高いまま放置していると、気づかぬうちに血管が傷ついてしまいます。自覚症状が出る頃には、長期間の治療や高額な医療費が必要となることもあります。そうなる前にすぐにお近くの医療機関にご相談ください。</p> <p>高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙などにより、血管が傷つき脳梗塞、心筋梗塞などの原因になります。</p> <p>正常血圧 動脈硬化 (アテローム) 血栓 (フibrin) 破裂</p> <p>健康な血管は、血管の内径が狭く、血管壁のバリア機能が働いている</p> <p>動脈硬化は、血管の内径に入り込みアテロームを形成する</p> <p>コレステロールや糖質等により形成された血栓が血管を詰まらせる原因となる</p>
料金別納郵便							
発症の疑いがある疾患 ^{※1}	高血圧症 糖尿病 脂質異常症						
医療データの確認期間 ^{※2}	令和2年4月～令和3年4月						
<h3>小平市からの重要なお知らせ</h3> <p>小平市</p> <p>小平市 健康福祉部 保険年金課 〒187-8701 小平市小川町2丁目1,333番地 電話:042-346-9529</p>	<h3>受診のメリット</h3> <p>一日も早い治療開始には様々な利点があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療期間の長期化や服薬による身体的負担を回避できます。 治療を早く開始することで、医療費の負担が軽減できます。 命の危険や、重い障害が残るリスクを避けられる可能性があります。 	<h3>医療機関受診のステップ</h3> <p>STEP 1</p> <p>医療機関へ行く日を決める</p> <p>STEP 2</p> <p>医療機関へ予約 または 受診する</p> <p>【当日の持ち物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保険証 ②本通知書 または 最新の健診結果 <p><small>本通知は、小平市国民健康保険加入者の健康維持を目的に作成・送付しています。 小平市では診療情報・健診結果等を国民健康保険加入者の健康づくりや重症化予防などに活用しています。</small></p>					
<p>重要なお知らせです</p> <p>必ず聞いてお読みください (表裏どちらも開きます)</p>	<p>郵便はがき</p> <p>詳しい内容は中冊へ</p>						

●対象者の抽出方法

令和2年度の特健診の受診者で、令和2年3月から令和3年4月の診療のうち、生活習慣病に係る医療機関の受診の確認ができず（生活習慣病関連のレセプトがない）、健診の結果に異常がある人に対して通知書を送付することで、受診勧奨を行った。

●勧奨通知の送付の状況

令和3年度は、勧奨通知の送付回数を1回から2回に増やし、令和3年7月21日に1206件、令和3年10月20日に794件送付した。

●事業評価

医療機関受診率

通知者数（人）		治療開始者数（人）		医療機関受診率（％）		目標値（％）	目標達成率（％）
	2回目通知者数		2回目発送後者数		2回目発送後医療機関受診率		
1,206	794	256	77	21.2	6.4	20	106.1

治療開始者数…通知者（対象者）のうち、令和3年4月から令和4年1月の期間に生活習慣病に関連する治療を医療機関で開始した人数。なお、「うち2回目発送後治療開始者数」は2回目発送以降の令和3年11月以降に治療開始した人数を記載。

通知者数の1,206人のうち、256人が通知送付後にはじめて生活習慣病に係る医療機関の受診が認められた。

3 健診異常値放置者受診勧奨事業の今後の方向性

健診異常値放置者受診勧奨事業については、令和3年度から勧奨通知の送付件数を800件から2,000件に増やし実施した。

通知送付後の医療機関受診率は通知回数を増やした効果もあり、令和3年度は前年度と比べて4.2ポイント向上し、目標値とする受診率20%を達成することができた。

次年度以降も引き続き、効果的な通知の文書内容を検討し、更なる受診率向上に努めていく。

4 特定保健指導

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
4 特定保健指導 生活習慣改善のための指導を実施します。	特定保健指導対象者	-	①実施率 令和5年度までに60% ②特定保健指導対象者減少率 25%(平成20年度比)

40歳から74歳までの小平市国民健康保険加入者で特定健康診査を受診した者のうち、厚生労働省が定めるメタボリックシンドロームに関する階層化基準が「積極的支援」または「動機付け支援」に該当した者に、特定保健指導を委託および直営にて実施した。

また、特定保健指導の対象外であるが、検査数値が受診勧奨に該当する受診者に電話や手紙によるフォローを実施し、生活習慣病の予防や重症化予防に取り組んだ。

●特定保健指導（委託・直営）支援形態

- ・積極的支援…面談（初回面談1回）、電話支援（2回）、手紙支援(4回)
結果評価アンケート（3か月後）
- ・動機付け支援…面談（初回面談1回）、電話支援（1回）
結果評価アンケート（3か月後）

●初回面接実施状況

※委託先の保健師等による保健指導を希望しない等の対象者は市職員が直営で特定保健指導を実施した。

令和3年10月から令和4年3月31日までの初回面談実施状況

（令和3年度対象者のうち、当年度中に面談を実施した数）

【積極的支援】

年度	対象者（人）	委託実施者（人）	直営実施者（人）	合計（人）	実施率（%）
3年	376	51	3	54	14.4

【動機付け支援】

年度	対象者（人）	委託実施者（人）	直営実施者（人）	合計（人）	実施率（%）
3年	1,086	166	19	185	17.0

●集団健診結果相談会

集団健診受診者を対象に、健診結果についての個別相談会を予約制で実施した。健診結果と相談内容に応じて、保健師や管理栄養士が食事や運動等の保健指導、受診勧奨等を行った。

日程	参加人数
3/18, 22, 25	3人

●特定保健指導セミナー実施状況

令和3年度は、生活習慣改善のモチベーション維持、意識づけを図る目的で、特定保健指導初回面談利用者と未利用者も参加できるセミナーを実施した。管理栄養士による食生活改善のポイントや、健康運動指導士による運動のポイントなどを講義・実践形式で伝えた。

(7/10は実施時間90分、定員15名、3/8、3/15は実施時間各回120分、定員20名)

日程	参加者(人)
7月10日	7
3月8日	8
3月15日	8
合計	23

●特定健康診査フォロー

特定健康診査受診者のうち保健指導判定が「情報提供」で、特に受診の必要がある治療域の対象者に、電話及び手紙による受診勧奨及び相談を実施した。

内容	40～64歳	65歳以上	件数合計
電話支援	125	179	304
手紙支援	83	114	197
合計	208	293	501

	指導者別相談件数
保健師	259
管理栄養士	45
合計	304

●広報活動、その他

- ・健診結果の見方とメタボリックシンドロームに関する情報提供紙「健診結果活用ガイド」を2万部作成し、各医療機関を通して健康診査を受診した市民へ配布した。
- ・人間ドックを受診した市民755人に情報提供紙を渡し、文章による健康教育を行った。また、管理栄養士・保健師が階層化を行い特定保健指導の必要性の有無を判定した結果、71人が特定保健指導の対象となり、利用勧奨の案内を個別通知した。
- ・対象者自身のオンライン端末で初回面談が可能となるICT面談を行った。
- ・肺がん検診に来所した市民に対し、特定健診・特定保健指導と生活習慣病予防に関するリーフレットを配布し、普及・啓発を行った。
- ・健康センター事業やがん検診等に来所した市民のうち、特定保健指導対象で特定保健指導未利用となっている方に特定保健指導の利用勧奨を行った。
- ・集団健診受診者のうち、当日時点で特定保健指導の対象となる可能性の高い方に、その場で特定保健指導の利用勧奨と初回面談予約の受付を行った。また、当日の血圧が高値だった方に保健師による再測定と個別相談を行った。
- ・集団健診受診者に対し、保健師及び管理栄養士が健診結果の説明及び保健指導、健康相談を実施した。

4 特定保健指導の今後の方向性

特定保健指導については、昨年度に引き続き、案内通知の内容及びデザインを検討・作成し、検診等事業実施時に勧奨を行った。

令和2年度より開始したICT面談は43件の申込があり、一定の効果が見込めている。

令和4年度から特定保健指導委託事業者が変更となるため、新たな事業者と連携し、小平市の特性や現状を考慮した利用勧奨や市民の生活改善に関する行動変容に向けた支援を実施して、実施率向上と小平市民の健康維持増進を目指していく。

具体的には、対象者へ送付する特定保健指導の案内通知の内容及びデザインについて新たな事業者の提案を受けつつ、過去の経験を活かしてより良い物を作成し、検診や各事業などへ来所された市民に対して、特定健康診査及び特定保健指導の周知のためポスターの掲示やチラシの配布、対象者に直接声をかけることにより利用勧奨を行うなど、特定保健指導の利用を促す働きかけを実施していく。

5 糖尿病重症化予防指導

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
5 糖尿病重症化予防指導			
重症化予防プログラム 糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定して対象者に対して、専門職が6カ月の面談指導と電話フォローを実施します。	糖尿病性腎症患者	指導実施者数 30人	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値を0.2%削減
重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨 プログラムに参加せず、なおかつ医療機関への受診が確認できない対象者に受診勧奨を行います。	医療機関未受診者	勧奨通知送付回数 年1回	送付後の受診率 100%

5-1 重症化予防プログラム

●事業内容

被保険者の糖尿病性腎症の重症化予防を目的とし、特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行った。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとした。

●対象者の抽出

令和2年4月～令和3年2月診療分(11か月分)のレセプトデータと令和2年度の健診データを使用し、抽出を行った。

	重症度	【参考】想定する糖尿病性腎症病期	合計人数 (実人数)
↑ 高 重症度 低 ↓	1 重症度① ・eGFR 15以上～30未満 ・腎不全または糖尿病性腎症第4期	4期 (腎不全期～透析療法期)	0人
	2 重症度② ・eGFR 30以上～45未満または尿蛋白(+)以上 ・糖尿病性腎症第2期、3期	2～3期 (早期腎症期～顕性腎症期)	252人
	3 重症度③ ・eGFR 45以上～60未満 ・糖尿病合併症あり(腎症なし)または糖尿病性腎症第1期	1期 (腎症前期)	49人
	4 重症度④ ・eGFR 60以上～90未満 ・合併症なし(糖尿病のみ)		0人
	5 その他	-	0人
保健指導効果の高い患者数(重症度②+③+④)			301人

糖尿病性腎症重症化予防プログラムのご案内

小平市健康福祉部保険年金課

糖尿病性腎症重症化予防プログラムとは

糖尿病性腎症重症化予防プログラムは、小平市国民健康保険の被保険者の皆様を対象に、保健師・看護師・管理栄養士の専門資格を持った健康相談員が日常生活の面から皆様を支援させていただきます。糖尿病の重症化を予防し、より健康な生活を送っていただくことを目的としたプログラムです。

生活習慣の改善に必要なさまざまな知識・手法を身につけた健康相談員が、豊富な個別支援の経験をもとに、約6か月間にわたりご支援いたします。

なお、現在、医療機関で糖尿病の治療を受けていらっしゃる場合は、主治医の先生の指導方針に沿って、プログラムを実施させていただきます。

プログラムの流れ

6か月間のプログラムの流れは以下のとおりです。



健康相談員からは下記の電話番号でご連絡いたします。

0120-559-870



面談



参加者様と健康相談員（専門職）で1時間程度の面談を行います。担当相談員から事前にお電話をさしあげたうえで、参加者様のご自宅等に訪問させていただきます。ご家族の方もご同席いただけます。

電話支援&支援レポート



事前もしくは初回面談時にご指定いただくお電話番号に、担当相談員からお電話させていただきます。また、お電話でお話した内容をのちほどお手紙にまとめてお送りいたします。

※ 募集案内時に送付したパンフレットから抜粋。

●事業参加者の状況

事業対象者の301人にプログラム参加の勧奨通知を送付し、12人の参加があった。

↑ 高 重 症 度 低 ↓	重症度	【参考】想定する糖尿病性腎症病期	合計人数 (実人数)
	1 重症度① ・eGFR 15以上～30未満 ・腎不全または糖尿病性腎症第4期	4期 (腎不全期～透析療法期)	0人
	2 重症度② ・eGFR 30以上～45未満または尿蛋白(+)以上 ・糖尿病性腎症第2期、3期	2～3期 (早期腎症期～顕性腎症期)	11人
	3 重症度③ ・eGFR 45以上～60未満 ・糖尿病合併症あり(腎症なし)または糖尿病性腎症第1期	1期 (腎症前期)	1人
	4 重症度④ ・eGFR 60以上～90未満 ・合併症なし(糖尿病のみ)		0人
	5 その他	-	0人

保健指導効果の高い患者数(重症度②+③+④)	12人
------------------------	-----

事業参加者の内訳

年齢	男性(人)	女性(人)	合計(人)
45～49	0	0	0
50～54	1	0	1
55～59	1	1	2
60～64	0	0	0
65～69	0	1	1
70～74	6	2	8
合計	8	4	12

●指導実施の状況

事業参加者12人がプログラムに参加し、11人がプログラムを終了した。

	初回面談 1回目	面談 2回目	電話 3回目	電話 4回目	電話 5回目	最終面談 6回目
10月	12	1	0	0	0	0
11月	0	11	0	0	0	0
12月	0	0	11	1	0	0
1月	0	0	0	10	1	0
2月	0	0	0	0	10	1
3月	0	0	0	0	0	10
合計	12	12	11	11	11	11

●事業評価

指導後の体重増減【N=11】

		初回体重(kg)									合計(人)	
		54以下	55	60	65	70	75	80	85	90		95以上
最終増減量(kg)	+2				1							1
	+1	1										1
	0		1	1	3			1	1			7
	-1								1			1
	-2						1					1
												11

H b A 1 c 【N=11】

	初回 (%)	最新 (%)
H b A 1 c	7.2	7.0

H b A 1 c とは、血液中のヘモグロビンにブドウ糖が結びついたもので、過去1～2か月の血糖状態を把握できる数値であり、5.5%以下で異常なしである。

指導終了した11人の平均値は、7.2%から7.0%へ減少している。

●プログラム終了後に実施したアンケート結果から

プログラムを受けた主な感想

- ・糖尿病になったばかりで知識がない人の支援としてはいいと思うが、そうでない人にとっては、知っている情報が多く物足りない感じがする。
- ・知らないことが結構あったので、色々聞けて良かった。話を聞いてくださり、ありがとうございました。
- ・家まで来ていただいて、ありがとうございました。今まではHbA1cしか気にしていなかったが、他のことも色々聞けて良かった。
- ・テキストを事前に読んでおくことが大切だと思います。質問項目をチェックできるスペースがテキストの中にあると便利だと思います。
- ・食事に関して再認識できてよかった。
- ・面談が3回でちょうど良かった。

●実施状況及び評価

事業対象者の301人にプログラム参加の勧奨通知を送付し、12人の参加があった。

事業参加者12人がプログラムに参加し、11人がプログラムを終了した。

保健指導の結果、プログラムの前後で、H b A 1 c の値は改善され、人工透析移行者はいなかった。

5-2 重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨

●事業内容

5-1の事業で抽出した対象者の中で、プログラム未参加者のうち病院での治療を中断している対象者に対し、受診勧奨を行う。

●対象者の抽出

5-1の事業対象者301人のうち、プログラム参加者12人を除いた289人の令和3年3月～令和4年1月診療分のレセプトデータを確認し、抽出を行った。

●対象者数及び受診勧奨

令和3年度は該当者がいなかったため、受診勧奨を行っていない。

5 糖尿病重症化予防指導の今後の方向性

重症化予防プログラム参加者に対して終了後に行ったアンケートでは、概ねプログラム内容が好評で、満足度が高いことがうかがえた。特に月1回の電話もしくは面談による半年間の支援について、丁寧な対応と感じる対象者が多かった。

令和3年度から新型コロナウイルス感染症対策としてICT面談を導入した結果、4人がICT面談を活用し、参加者数も増加した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出を控える状況ではあったが、対面面談によりモチベーションが向上したとの意見もあったので、引き続き感染症対策を徹底したうえで対面面談も実施していく。

当事業を開始した平成27年度以降、プログラム参加者から人工透析に移行した方が0人という結果は、健康増進及び医療費の適正化の観点から大きな成果と思われる。

今後は、目標とするプログラム参加者30人を達成するためにも、糖尿病性腎症重症化予防に関するパンフレット配布など、重症化予防の重要性に関する啓発活動をすすめていく。

6 多受診者指導

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
6 多受診者指導 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者に対して面談指導と電話フォローを実施します。	重複受診者 頻回受診者 重複服薬者	指導実施者数 50人	指導後の受診行動適正化率 100%

●事業内容

病状、治療、服薬等の状況から、家庭でのより良い生活支援のため、健康づくり、療養のしかた、医療機関や福祉のサービスの利用方法などについての相談や情報提供、アドバイスをを行うための保健師等による家庭訪問相談に関する案内文をお送りし、その後、健康の保持・増進に向けた情報提供や指導を、訪問と電話により行った。

●対象者の抽出方法

重複受診、頻回受診、重複服薬がみられる者を、対象者として特定した。

【重複受診、頻回受診、重複服薬の選定基準】

重複受診… 1 か月間に同系の疾病を理由に 3 医療機関以上を受診する。

頻回受診… 1 か月間に同一の医療機関に 8 回以上受診する。

重複服薬… 1 か月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が 60 日を超える。

●実施状況

令和 3 年度の対象者は 478 人で、事業参加の勧奨通知の送付と電話勧奨を行い、47 人の方が参加した。

対象者の状況 (478 人)

指導対象項目	人数 (人)	総数 (人)
重複受診	25	478
頻回受診	288	
重複服薬	153	
重複受診+頻回受診	3	
頻回受診+重複服薬	6	
重複受診+重複服薬	2	
重複+頻回+服薬	1	

年齢	男性（人）	女性（人）	合計（人）
20～29	0	0	0
30～39	14	11	25
40～49	13	22	35
50～59	27	34	61
60～69	64	85	149
70～74	71	137	208
合計	189	289	478

●事業参加者の状況

参加者の状況（47人）

指導対象項目	人数（人）	総数（人）
重複受診	3	47
頻回受診	31	
重複服薬	11	
重複受診＋頻回受診	0	
頻回受診＋重複服薬	2	
重複受診＋重複服薬	0	

年齢	男性（人）	女性（人）	合計（人）
20～29	0	0	0
30～39	0	0	0
40～49	1	2	3
50～59	0	1	1
60～69	6	6	12
70～74	4	27	31
合計	11	36	47

●指導実施の状況

参加者の支援状況（47人）

指導実施者（人）	
面談	電話
47	46

●事業評価

1 指導実施率

対象者（人）	実施者（人）	実施率（％）
478	47	9.8

2 指導完了後の受診行動適正化率

指導対象項目	指導実施者(人)	資格喪失者(人)	指導後の効果を把握した人数(人)	指導後の改善により選定基準に該当しなくなった人数(人)	指導完了後の受診行動適正化率(%)
重複受診	3	0	3	3	100
頻回受診	33	0	33	27	81.8
重複服薬	13	0	13	13	100
合計	47	0	47	41	87.2

※複数の指導対象項目の該当者がいることから合計数は異なる。

- ・事業対象者は478人で、事業参加の勧奨通知の送付と電話勧奨を行い、複数の指導対象項目に該当している者を含む47人の参加があった。指導実施率は、9.8%であった。
- ・指導実施者47人の内1人は最終期日までに支援終了に至らなかった。(再三架電したものの、繋がらなかった。)
- ・指導後の効果を把握した者47人のうち、41人が指導後の改善により選定基準に該当しなくなり、指導完了後の受診行動適正化率は、87.2%であった。

6 多受診者指導の今後の方向性

多受診者指導については、事業対象者の多い60歳から74歳までの年齢層に指導参加者が多く、効果的に事業が実施できた。特に、重複受診については、指導後の受診行動改善率が100%であり、効果が見られた。指導実施率は9.8%であり、令和2年度より1.4ポイント低下した。

指導実施後の受診行動適正化率は、重複受診及び重複服薬の適正化率は向上したものの、頻回受診の適正化率が低下し、全体として87.2%となり、令和2年度の84.8%より2.4ポイント上昇した。

指導実施対象者数の目標50人をほぼ達成していることから、今後もより多くの方に相談していただけるよう取り組んでいく。

7 ジェネリック医薬品差額通知

●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
7 ジェネリック医薬品差額通知 先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付します。	軽減額が一定以上となる被保険者	-	ジェネリック医薬品使用割合 平成30年度から令和2年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上

●事業内容

ジェネリック医薬品の普及率向上を目的とし、レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載した。

●対象者の抽出方法

ジェネリック医薬品への切り替えにより薬剤費軽減額が100円以上の対象者のうち軽減額が高い順に抽出した。

●通知の送付の状況

令和3年度

送付月	6月	7月	8月	9月	10月
送付件数(件)	994	955	957	524	265
送付月	11月	12月	1月	2月	3月
送付件数(件)	784	799	907	691	482

年間合計送付件数(件)	7,358
-------------	-------

【ジェネリック医薬品差額通知】

番号 1234567890

お薬代負担軽減のご案内

国保 一部 様
 令和2年2月処方分
を、現在よく流通しているジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の負担が
(2月時点での負担割合です)

1,900円～

軽減できる金額は処方内容によって異なる場合があります。

軽減されます。

令和2年2月分の処方実績					軽減できる金額
医療機関・薬局区分	薬品名	お薬の単価	数量	単位	お薬代(3割負担)
薬局					
	キネダック錠50mg	78.5	84.0	錠	1,970
	メパロチン錠10・10mg	61.4	24.0	錠	440
	ノルバスクOD錠5mg	38.0	24.0	錠	270
	小計				2,680
	1,130				～
薬局					
	オバルモン錠5μg	41.8	63.0	錠	790
	ミオニール錠5.0mg	13.6	63.0	錠	250
	小計				1,040
	260				～
	140				～
	400				～
合計					3,720
					1,940
					～

※1 薬品名とは
処方されたお薬(先発医薬品)の名称です。医療機関・薬局ごとに記載しています。

※2 お薬代とは
当月にかかったお薬代です。(お薬代のみ記載で、実際にお支払いになった金額と異なる場合があります。)

※3 軽減できる金額とは
処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替える事によって軽減できる金額の目安です。

ご注意ください
 ●本明細は、医療機関・薬局の過去の請求データに基づいて作成されています。本明細に記載されない場合は、軽減効果が大きい順に記載しています。
 ●国や市町村から医療助成を受けている場合、実際の変払額と異なる場合があります。
 ●ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があります。実際の軽減額には細が異なります。
 ●上記に記載する薬品名には、がんその他特殊疾病に使用されるお薬、産婦人科のお薬については除外しています。
 ●先発医薬品とジェネリック医薬品は有効成分は同一ですが、製剤によって効き目や副作用などは異なる場合があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。

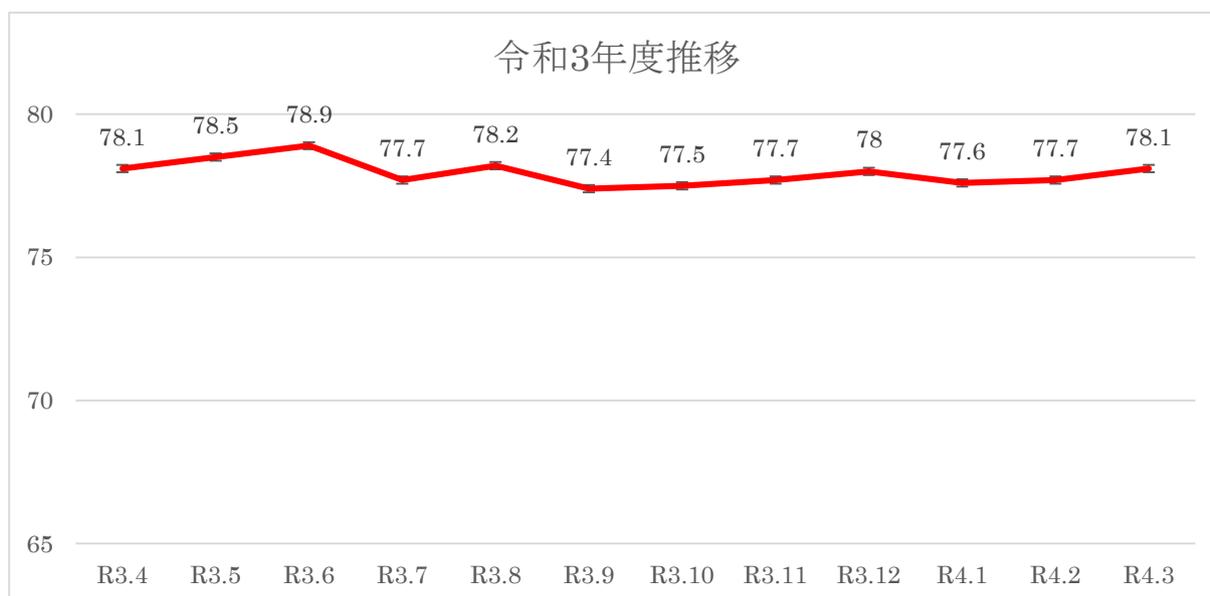
●事業評価

ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）

診療月	R 3年4月	R 3年5月	R 3年6月	R 3年7月
普及率 (%)	78.1	78.5	78.9	77.7
診療月	R 3年8月	R 3年9月	R 3年10月	R 3年11月
普及率 (%)	78.2	77.4	77.5	77.7
診療月	R 3年12月	R 4年1月	R 4年2月	R 4年3月
普及率 (%)	78.0	77.6	77.7	78.1

令和3年4月～令和4年3月診療分における 平均ジェネリック医薬品普及率 (%)	78.0
--	------

ジェネリック医薬品普及率 (%) の推移



- ・令和3年4月～令和4年3月診療分におけるジェネリック医薬品普及率は、78.0%となった。
- ・令和3年6月から令和4年3月までの10回、延べ7,358人に通知を行った。

7 ジェネリック医薬品差額通知の今後の方向性

ジェネリック医薬品差額通知については、ジェネリック医薬品普及に一定の効果が確認できた。次年度以降も、引き続き事業を同内容で実施するとともに、ジェネリックシールの配布や市報等の広報活動を通じて、目標値の80%に向けてジェネリック医薬品の普及に取り組んでいく。

8 第二期データヘルス計画の実績

	対象	事業評価	目標	実績	実績	実績	実績
				1年目 平成30年度 (2018)	2年目 令和元年度 (2019)	3年目 令和2年度 (2020)	4年目 令和3年度 (2021)
1 特定健康診査							
1-1 特定健康診査受診勧奨 (通知送付)	①40歳の新規特定健診対象者から抽出 ②40～60歳代のうち前年度特定健診未受診者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	送付後の受診率 20%	①26.7% ②12.2%	①21.6% ②51.7%	①27.6% ②49.8%	①27.1% ②36.0%
1-2 集団健診	40～74歳の被保険者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	受診者数 600人	受診者数 561人	受診者数 652人	受診者数 578人	受診者数 608人
1-3 人間ドック助成	30歳以上の人間ドック受診者	事業実施量 (アウトプット)	申請件数 600件 → 1,000件 (令和3年度から)	申請件数 720件	申請件数 853件	申請件数 610件	申請件数 800件
		結果 (アウトカム)	-	-	-	-	-
2 がん検診							
がん検診	対象年齢の市民	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	受診率 胃がん 10% 肺がん 10% 大腸がん 30% 子宮頸がん 25% 乳がん 25%	受診率 胃がん 4.2% 肺がん 6.1% 大腸がん 24.4% 子宮頸がん 13.0% 乳がん 17.1%	受診率 胃がん 3.9% 肺がん 5.8% 大腸がん 23.5% 子宮頸がん 13.5% 乳がん 17.9%	受診率 胃がん 3.0% 肺がん 3.9% 大腸がん 23.3% 子宮頸がん 13.0% 乳がん 16.4%	受診率 胃がん 4.4% 肺がん 5.4% 大腸がん 24.2% 子宮頸がん 14.8% 乳がん 16.8%
3 健診異常値放置者受診勧奨							
受診勧奨 (通知送付)	健診異常値未治療者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年2回
		結果 (アウトカム)	勧奨後の受診者率 20%	勧奨後の受診者率 11.8%	勧奨後の受診者率 16.3%	勧奨後の受診者率 17.0%	勧奨後の受診者率 21.2%
4 特定保健指導							
特定保健指導実施	特定保健指導対象者	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	令和5年度までに ①実施率 60% ②特定保健指導対象者 減少率 25% (平成20年度比)	①実施率 14.7% ②特定保健指導対象者 減少率 9.4% (平成20年度比)	①実施率 21.6% ②特定保健指導対象者 減少率 9.6% (平成20年度比)	①実施率 17.6% ②特定保健指導対象者 減少率 7.5% (平成20年度比)	報告時点では 算出できない
5 糖尿病重症化予防指導							
5-1 重症化予防プログラム		事業実施量 (アウトプット)	指導実施者数 30人	指導実施者数 13人	指導実施者数 11人	指導実施者数 8人	指導実施者数 12人
		結果 (アウトカム)	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値を 0.2%削減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.9%減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.1%減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.1%減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.2%減
5-2 重症化予防プログラム 未参加者への受診勧奨		事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年2回	勧奨通知送付回数 年2回	勧奨通知送付回数 年1回	-
		結果 (アウトカム)	送付後の受診率 100%	送付後の受診率 0%	送付後の受診率 0%	送付後の受診率 100%	-
6 多受診者指導							
指導対象者数	重複受診者 頻回受診者 重複服薬者	事業実施量 (アウトプット)	指導実施者数 50人	指導実施者数 50人	指導実施者数 48人	指導実施者数 47人	指導実施者数 47人
		結果 (アウトカム)	指導後の 受診行動適正化率 100%	指導後の 受診行動適正化率 88%	指導後の 受診行動適正化率 91.7%	指導後の 受診行動適正化率 84.8%	指導後の 受診行動適正化率 87.2%
7 ジェネリック医薬品差額通知							
ジェネリック医薬品普及率	軽減額が一定以上となる被保険者	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	ジェネリック医薬品 使用割合平成30年度から 令和2年度未までの なるべく早い時期に 80%以上	平成30年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 72.5%	令和元年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 75.6%	令和2年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 77.8%	令和3年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 78.0%

※ 実績値については、令和4年9月現在で把握している数値を記入している。